

【様式第4号】

令和7年度 第8回 保土ヶ谷区障害者自立支援協議会 ほどほどの会 会議録	
日時	令和7年12月16日(火)15:30~17:00
開催場所	保土ヶ谷区生活支援センター
出席者	田中(わおん)、山本(区役所)、遠藤・月見(基幹相談支援センター)、新井田(あかね工房)、佐藤若・大方(生活支援センター)(敬称略)
欠席者	加藤(リンク)、深澤・松浦(常盤台病院)、霜島(あかね工房)
開催形態	公開(傍聴人: 名)・ <u>非公開</u>
議題	<p>1. 社会資源動画について 手上げ事業所については別紙「参加事業所一覧」参照。その他事業所へは個別に依頼</p> <p>〈個別依頼先〉 【日中活動】いろどり(自立訓練)あかね工房(就B) 【住まい】ネットの会(GH 梅の木、仏向)・アンダール(GH)、おきな草(高齢向けGH) ヴィラあさひの丘(生訓) 【訪問系】リンク(訪問看護) 【ケアプラザ】今井、仏向 【お金】あんしんセンター 【相談先】区役所、基幹相談、センター(1次相談)→各機関で作成</p> <p>〈依頼調整役割分担〉 あかね工房:あかね工房、ネットの会(梅の木、仏向) センター:あんしんセンター、アンダール常盤台、おきな草 区役所:ヴィラあさひの丘 基幹:いろどり わおん:今井、仏向、リンク</p> <p>データ送付先:保土ヶ谷区生活支援センター 提出期限:1/16(金)で依頼 ※16日以降、提出がない事業所についてはメールで共有。1/19(月)までに提出がない事業所には電話にて進捗確認を行う</p> <p>2. OTプログラムほどほどの会 〈12月の予定〉 ・おやつ作り男子会 12/24(水)AM9:30~11:30 →ほどほどの会より、加藤氏と大方が参加。詳細は松浦氏より個別連絡いただく。1月ほどほどの会にて振り返り実施。</p> <p>〈1月以降の予定〉 ・1月予定 中旬~下旬で初詣 2階病棟、3階病棟に分けて実施。神明社か杉山神社への外出。詳細は松浦氏より共有いただく。</p>

〈次年度スケジュール〉

①OT×ほどほどの会

・第2火曜日午前で固定

・出張あかね工房・生活教室実施月を外し、年間5回程度を予定。

→5回のうち1回は研修(ケアプラザ紹介)予定。病棟の高齢化や高齢サービスのニーズの高まりに応えることを目的に実施したい

②その他

・出張あかね工房

出張あかね工房での実績を生かして、対事業所にも活動を広げていくか検討。ほどほどの会の中で行うか、ほどほどの会で活動内容を都度報告する形とし、主のやりとりや企画は各事業所とOTで行ってもらうか等、進め方を検討する必要がある。

・センター見学企画

ほどほどの会とは別で、センターイベントに参加してもらう企画を検討。実施の際は、センター・常盤台病院OT間で調整し、ほどほどの会で報告。

・参加事業所

来年度以降は港北病院に再度お声掛け→センター・佐藤からお声掛け

3. 今年度振り返り

・去年、病院との地域連携が足りないことがわかり、今年からフォーマットを変更して事例検討を実施。今年は事例検討が1件のため、来年度は新フォーマットを利用した事例検討を行いたい

・出張あかね工房からアンケートの実施につながり、病院のニーズをつかみ社会資源動画の作成まで進めることができた

・アンケートや協働活動が地域体験の場、地域移行にもつながっているのでは

・今年度から、あかね工房での作業体験を追加。年度末にはGH見学も予定しており、日中の活動だけではなく住まいの部分を見てもらえる機会になったのは良かった

・他機関ならではの協働活動・連携が活発化。病院の困りごとに対してこの会が協力連携できることはなにかという視点への転換があった

・地域移行の課題として知的も精神も体験の場所が少ない。入院中でも日中の居場所を体験するなど緩やかに地域移行を目指せると良い。

・「体験する場所」を作りたい。また、体験の重要性を病院や地域の支援機関で共有していきたい

・地域移行支援事業を行える事業所が少ないことも課題→知的・精神ともに増えるとよいため相談支援体制を整えていきたい

4. 次回内容

・社会資源動画

・OTほどほど協働活動について、12月OTプログラム振り返り。来年度内容協議

次回：1月20日(火)15:30～ 場所：常盤台病院